

Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka

2017-06-15

APM news 171

秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館 (旧北越銀行宮内支店)



2017年度 秋山孝ポスター美術館長岡 5月13日(土)pm1:00~pm2:00

運営委員会・サポーターズ倶楽部役員会合同会議

〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8
TEL 0258-39-1233



2017年5月13日(土)、秋山孝ポスター美術館長岡(APM)・蔵において、2017年度APM運営委員会・サポーターズ倶楽部役員会合同会議を開催した。2016年度の事業活動、会計収支決算を報告、2017年度事業計画、会計収支予算を発表した。

2016年度の事業報告としては、3回の企画展、5回の美術館大学、2回のワークショップを、また前年度に引き続き日本ブックデザイン賞2016を開催したことを報告した。更に2016年8月1日には、APMの建造物が国の登録有形文化財に登録されたことを報告した。

2017年度の事業計画では、2回の企画展、4回の美術館大学、1回のワークショップ、日本ブックデザイン賞2017、2つの館外展示として「秋山孝貼紙展中之口」と「まちなかミュージアム」を開催する予定であることを発表した。また、大きな改革としてAPMの週3日開館制の導入について説明した。今までの11:00~17:00の間いつでも入館可能な形から、開館日を金・土・日曜の週3日、時間を11:00、13:00、15:00の1日3回に限定し、事前予約制でAPMとAPM・蔵の2ヶ所をガイド付きで案内する形に移行する。背景には来館者へのサービスの向上があげられる。APMとAPM・蔵を併せてガイド付きで案内することにより、今までより来館者の満足度を上げられると考えた。

2016年度会計収支決算、2017年度会計収支予算についても説明し、承認された。

閉会の挨拶でAPM館長・秋山孝は、「APMがどういふ社会貢献、研究ができるか、特に今回導入した週3日開館制はどのようなサービスができるかを考えることが重要である。美術が社会にとっていかに必要なかを力強く訴えていきたい」と、会議を締めくくった。(森山奈帆・APM職員)

出席者：14名

運営委員会：秋山孝(館長)、豊口協(会長)、高田清太郎(副会長)、秋山善広(幹事)、渡辺誠介(幹事)、高田勉(幹事)、山川大輔(幹事代理)、丸山博(監事)

サポーターズ倶楽部役員：高田清太郎(会長)、秋山孝(顧問)、覚張良裕(理事)、今井進太郎(理事)、渡辺千雅(理事)

事務局：たかだみつみ(事務局長)、森山奈帆

オブザーバー：神林弘子

欠席者：6名(委任状提出済み)

運営委員会：牧野忠昌(副会長)

サポーターズ倶楽部役員：小川八重子(理事)、山本敦(理事)、高田彰(理事)、平澤広栄(理事)、脇屋雄介(理事)